

大地と生態系と人の物語

大地と人が築きあげた宝箱 鉱山跡

【お問い合わせ先】
三好市教育委員会
文化財課 ☎ 72-3910



【写真1】三縄鉱山



【写真2】腕鉱山跡の坑道入口



【写真3】祖谷鉱山付近で採取したスラグ（銅を精錬したあとの屑）

◎三好市内の鉱山跡

「石たちが妙に騒ぎおつてな。こういう時に（地）下におるのが好きじゃがな」

このセリフは、宮崎駿監督のアニメ映画「天空の城ラピュタ」の中の一コマで、廃坑の坑道内で鉱山師ボムじいさんが主人公であるパズーとシータに言うセリフです。

主に工業の原料として使われる有用な鉱物（鉱石）がたくさん取れる山を鉱山といいます。「天空の城ラピュタ」でボムじいさんが出たシーンはまさに、そんな鉱石がたくさん集まった鉱山のシーンでした。

鉱山はどこにもあるわけではなく、産業（主に工業）に役立つ鉱石がたくさん集まり、採ることができなければ、鉱山として成り立ちません。実は三好市には、分かっているだけでも鉱山跡が8か所もあり、三縄鉱山、祖谷鉱山、腕鉱山、大谷鉱山、向陽鉱山、小島鉱山、菅生鉱山、井ノ内鉱山で、主に銅が産出されていました。

銅は身近なところでは、硬貨（10円玉）や電線など多様な物に使用されています。また古くから人の生活の中で重要な金属として使われており、人類にとってなくてはならない元素の一つです。

では、どんな鉱物の中に銅は多く含まれているのでしょうか。そして、なぜ三好市に銅を含む鉱物の集まる場所が8か所もあったのでしょうか？

◎どんな鉱物の中に銅はあるの？

三好市にあった8か所の鉱山のうち、祖谷鉱山以外はすべて同じ地質体からできています。

中でも三縄鉱山（写真1）は、三好市の中では一番栄えた鉱山で、歴史も古く、一番多く採掘されました。三縄鉱山では、銅をはじめ、金、硫化鉄などの貴重な資源を含む鉱石が採掘され、鉄道ができるまでは舟を使って吉野川を下り、鉄道ができるからは戦前までは九州佐賀関に、戦後は愛媛県新居浜市まで汽車を使って運ばれました。

三縄鉱山では、黄銅鉱や斑銅鉱などのたくさんの鉱石が採掘されました。これらの鉱石は、主に緑泥片岩と呼ばれる岩石にたくさん集まっています。つまり、緑泥片岩のできる方を探ることによって、銅の集まる仕組みが理解できるはずですよ。

◎緑泥片岩のできた過程を探れ
〜三好市の宝箱を知るために〜

今から約2億年前の海底で火山活動が起こり、火山起源の岩石ができます。そして海底火山付近ではたくさんの熱水が湧き出ていました。この岩石と熱水によって有用な資源（鉱石）のモトが作られました。そして海底にあったこれらの鉱石のモトが地球の大きな活動「プレート運動」によって今の日本にもたらされ、地下で大きな圧力を受けて、緑泥片岩になり、三好市の資源を作り上げたのです。

このように、鉱石が集まることにより地域の一大産業が築き上げられ、文化が創られます。三好市の鉱山跡は、2億年前からの長い過程を経て地球と人がつくりだした「宝箱」そのものなのです。

◎長谷川先生と行く三好ジオツアー

香川大学の長谷川修一先生と一緒に三好市のジオ（大地）を楽しむツアーを開催します。詳細は、3月5日以降に三好市教育委員会ホームページに掲載します。

日時▼3月18日（日）
場所▼三好市池田町周辺の予定
お問い合わせ先▼三好市教育委員会
文化財課 ☎ 72-3910



三好市役所 農業振興課勤務

福田 喬也



日本茶インストラクターが三好市を視察

雪が降る季節となり、とても寒い時期になりました。フェイブック「三好の旬感」でも三好市のPR活動のため各地の写真撮影を行っています。紅葉から雪景色に変わる様子や山々の景色はいつ見ても良く思えます。今後も各地の景色をカメラに収めて、市内外に発信していきたいと思っています。

さて、1月21日に関東より日



▲日本茶インストラクターが大歩危や有瀬地区を視察

本茶インストラクターの方々が、大歩危の歩危茶・天空ノ山茶、西祖谷山村の有瀬茶の茶畑を見学に訪れました。

日本茶インストラクターは、日本茶に対する興味・関心が高く、日本茶の知識・技術を持ち合わせている指導者の資格で、日本茶の普及活動や茶文化の継承などの活動をしています。

今回の視察は、茶文化の勉強を目的としており、日本全国各地のお茶や茶文化などを見聞しているそうです。三好市の急峻な場所にある茶畑を見た際は、大変驚いており、地域に根付くお茶の文化に対して熱心に聞いていました。三好市のお茶は注目される環境があり、継承していくお茶文化もあると改めて感じました。また、自身の今後のお茶のPRにも「お茶の文化」というものを意識して、活動に励みたいと感じています。

三好市教育委員会 文化財課勤務

殿谷 梓



5回にわたる三好市観光地・ジオの学びセミナー

三好市には、ガイド団体が10数ありますが、定期的な情報交換の場がないこと、そして三好市全体を案内できるガイドが現在存在しないこと、また、将来ガイドを担う若い人材が少ないことなど、課題が山積みしています。それらの課題について一緒に考えようと、大地（ジオ）の要素をガイドの中に取り入れてもらうため、9月から5回にわたり、三好市観光協会とともに、「三好市の観光地・ジオ（大地）の学びセミナー」を開催しました。

1回目は、ジオパークに関する



▶井川町辻のまち歩きガイドさんによる辻のまち歩きツアーの様子

講演、2回目は、井川町辻のまち歩きガイドさんによる辻のまち歩きツアーを案内していただき、交流を図りました。3回目は西祖谷山村のかずら橋周辺を案内いただき、4回目は管蔵寺アニマルミステリーツアーガイドさんに管蔵寺を案内していただきました。最終回は、観光ガイドの課題を出し合うためのワークショップを行い、今後どのように取り組んでいくかの方向性を見出しました。

セミナーを通じて、ガイド間の交流が深まり、ガイドが抱えるさまざまな課題について共有できたと感じます。今後、出された課題を皆さんと一緒に少しずつ解決できるように取り組んでいきます。

来年度もこの活動は継続していく予定です。観光ガイドに興味のある方に参加してもらい、三好市の観光ガイドのあり方について一緒に考えていきたいと思っています。ぜひ、参加してみませんか？